

「丼丸」運営のササフネ

海鮮丼テイクアウト専門店「丼丸」を全国展開するササフネ（東京・葛飾区、亀山政典社長）はハロウィーンを翌日に控えた10月30日、東京・葛飾区の亀有学び交流館で「親子でハロウィンを楽しもう！ オリジナル海鮮丼作り体験」を開いた。小学生以下の親子向けの第1部に24人、中学生以上の親子向けの第2部に24人の合計48人が自分流の海鮮丼作りに挑戦した。

子ども食堂で 海鮮丼作り

ハロウィーン前日に食育イベント

同イベントは、葛飾区で活動する「青空っ子子ども食堂」（遠藤恵美代表）との共催で実施。同食堂は初開催から10月30日の第24回がちょうど2周年の節目に当たり、特別なイベントとして開催した。一方のササフネ側

は、「子ども食堂」を利用する親子に向けて魚への理解を深めてもらう目

的で取り組んだ。

会場を訪れた参加者はササフネのスタッフが実店舗から持ち込んだマグロやサーモン、ネギトロ、エビ、イクラ、玉子焼きなど10種類近い具材を思



い思いに盛り付け。「丼食文化の底上げを目指す丸」の店舗でもみること。同社では今後もできない色彩豊かな「さまざまな企業・団体つボリューム感ある、オと連携をしながら魚食インリーワン海鮮丼を作りイベントを企画していきたく出して、魚のおいしさに」（同社広報）考え。舌鼓を打った。参加者高「丼丸」ではハロウィーンで交流しながら秋の夜を盛り上げるため10のひと時を楽しんだ。月27、31日のうちの4日ササフネが食育イベントを行うのは、今年8月間、都内の東新小岩店、森下店、根津店、大島店に次いで2度目。海鮮丼の4店舗限定で「みんなに気軽に接する機会を捉え、楽しんで！丼丸ハロウィーンキャンペーン2024」も開催。期間中に税込みで540円以上購入すると、次回来店時に使えるクーポン券が当たる抽選会を実施した。

小学生以下の親子向けの第1部に24人が参加した

